

No	山行区分	山行形態	タイトル	山 域	山 名	出発	帰着	コースタイム	感 想
528	個人山行	ハイキング		海外	ドロミテ	6/25	7/3	6/25成田＝ドバイ 6/26ドバイ＝ヴェネチア…ミズリナ湖 6/27トレチメ・デ・レバレド 6/28コルティナ・ダン ベッソオ…コルパ 6/29ヴァレルンガハイキング 6/30ルヴグア・デ・ヴァルカ ルデーナ、パッソ・セッ 山群ハイキング 7/1マルガ・オブレッタ 7/2ヴェ ネチア＝ドバイ 7/3ドバイ＝成田	ドロミテのお花を観るツアーに参加(9日間)、自然遺産の景 観と沢山のお花達に逢えて最高！トレッキングの5日間快晴の 下、高い所でも18°程度で湿度も低くコンディションは良好で気 持ちよく、ゆったりと沢山のお花の名前を確認しながら歩く事が出来 た(7/6ブ・ローゼ等)今がお花の旬だった。幸運にも「エー デルワイス」にも逢えた！ラッキー！景観は山と湖とどこも切 り取っても「絵葉書」の世界に感動の連続に浸っていた。最高 峰のマルモラーゼ山頂(3256m)は、360°パノラマの世界！山 頂から一人の山スキーヤーが爽快に滑り降りていった、羨まし い光景だった。
529	個人山行	ハイキング		奥秩父	乾徳山	7/1	7/2	7/1相模大野6:15＝團中央道＝中央高速＝勝沼IC＝乾徳山公 園P9:10＝乾徳山登山口10:00＝銀晶水10:50＝銀晶水 11:55＝12:25＝国師ヶ原十字路＝高原ヒュッテ12:33＝ 13:25＝月見岩＝扇平14:00＝乾徳山15:34＝扇平＝17:08 高原ヒュッテ(泊) 7/2高原ヒュッテ9:30＝銀晶水＝乾 徳山登山口11:15＝徳和溪谷(長尾の滝、夢想の滝)＝乾 徳山登山口11:55＝12:25乾徳山公園＝花かげの湯＝中央高 速＝相模大野	出発時降り始めた雨は途中で上がったが1日目は誰にも合わ ず。銀晶水は細目だが銀晶水の水場はジャンジャン出ていた。 高原ヒュッテのバイオトイレは不快な匂いは全くなく快適。徳 和溪谷を半分歩いたが、景観も良くお勤め。花かげの湯は JASカード提示で5人まで510円→410円
530	個人山行	沢登り		日光・那須	那須塩原 スッカン沢	7/3	7/3	三軒茶屋4:30＝7:45山の駅たかはら8:00(ハガケ原線歩 道経由)＝9:00スッカン沢入渓9:21＝9:59雄飛ノ滝＝ 11:40仁三郎ノ滝(一部雄飛の滝線歩道経由)＝12:35 咆哮轟轟ノ滝12:55＝13:51雷籠ノ滝14:08＝15:08おしら ノ滝5:37＝15:50県道56号線＝16:08山の駅たかはら	午後から雨の予報だったが、1日持って時折日も射した。ここ 数日の雨で水量は多く、登壁では水を被るところもあった。 スッカン沢と桜沢、溪相が温なり飽きずに楽しめた。咆哮轟 轟の滝は、水量と傾斜ともに少し厳しめの左の轟轟の滝の方をず ぶ濡れになって楽しんだ。おしらノ滝で、何故か水が殆ど 流れていなかったか美しいブルーを堪能できた。
531	ハイキング 企画部山行	ハイキング	自然観察 会	尾瀬	至仏山	7/5	7/7	7/5新宿22:20(バス)＝7/6鳩待峠6:30＝オヤマ沢田代 9:40＝10:00＝鳩待峠11:45＝13:00＝14:30山の鼻(泊) 7/7山の鼻7:00＝竜宮9:50＝山の鼻11:10＝12:00＝13:15 鳩待(バス)＝19:30新宿	6日の方がやや天気予報が良かったので、鳩待峠からオヤマ 沢田代をビストンした。雪解け後に一斉に花が顔を出したよう で、シラネアオイやクモイカリソウ、シノキノバイをはじめ 多くの花を観賞できた。7日は尾瀬が原でニコキスゲ、 レンゲツツジなど沢山の湿原の植物や池糖のサンショウウオ、 オゼイトトンなどが見られ、収穫の多い山行だった。
532	個人山行	ハイキング		上信越	エビ山	7/6	7/6	町田6:00＝富士見峠P10:15＝10:25＝弁天山10:50＝エビ 山12:15＝12:40＝野反湖キャンプ場分岐13:30＝13:45＝ 15:00富士見峠＝20:10町田	曇り模様であったが、ノゾリクスゲ・レンゲツツジ・銀嶺草等 が見られ、のどかな山行が楽しめた。
533	個人山行	ハイキング		尾瀬	帝釈山	7/6	7/7	7/7横浜＝道の駅尾瀬松枝岐(泊) 7/8道の駅6:30＝馬坂 峠登山口7:30＝帝釈山8:20＝9:00馬坂峠登山口＝那須塩 原 華の湯＝横浜	雨降りだったので馬坂峠の登山口からの最短コースに変更して 登頂。代わりに、下山後の温泉と食事を楽しんだ。イワカガ ミ、ゴゼンタチバナなどはあったが。肝心のオサバグサには出 会えなかった。コースはやや急で木道が滑りやすい。
534	個人山行	沢登り		大菩薩	泉水谷 大黒茂谷	7/6	7/6	自宅4:00＝丹波川余慶橋林道入口ゲート P7:20＝泉水谷林 道＝大黒茂谷出入渓8:15＝1450m＝右俣俣＝泉水十文字 1612m12:40＝大黒茂谷出合13:45＝ゲート P14:35	午後から雨予報だったため後線まで詰め上げず二俣を右俣に入り 1550m付近にある仕事道を見つけ下山した。沢中は前日ま での雨で増水しており何度もシャワーを浴びた。
535	個人山行	沢登り	徒渉訓練	奥秩父	丹波川 滑瀬谷と三条 新橋周辺	7/6	7/7	7/6 奥多摩駅8:30＝丹波川三条新橋10:00＝丹波川で訓練 13:00＝木下ファミリーキャンプ場 7/7 キャンプ場7:00 ＝三条新橋8:00＝丹波川で訓練11:10＝のめこの湯13:00	丹波川は連日の雨で増水していたが、両日とも訓練中は雨に降 られず、気温水温とも許容範囲で予定したメニューの80%を消 化。訓練には丁度適した水嵩で、実践に近い水圧を経験でき、 各自の沢スキル向上が図れました。
536	個人山行	ハイキング		東北	月山	7/7	7/7	仙台6:30(バス)＝月山八合目P10:00＝仏生地小屋11:50 ＝月山13:10＝牛首14:20＝リフト上駅15:20＝16:00姥沢 ＝(バス)＝18:10仙台	仙台は小雨だったが奥羽山脈から西は快晴で、青空の下お花畑 を眺めながら登った。山頂直下北側は雪渓と強風とでずぶ濡れ になった。南側の斜面は鍛冶小屋跡下部からリフト上駅まで切れ 目なく雪渓が続いており、牛首までは軽アイゼンを履いた。姥 が岳には夏山スキーを楽しむスキーヤーの姿があった。1日 のうち月山のさまざまな表情を楽しむことができた。
537	個人山行	ハイキング		北海道	利尻岳・旭岳・北海道 駒ヶ岳	7/7	7/15	7/7相模原6:10＝高尾山IC＝松島＝19:40仙台北(泊) 7/8苫小牧港FT11:00＝17:00道の駅わっかない(泊) 7/9 道の駅＝宗谷岬＝稚内港10:50＝利尻・鷲泊港12:40＝オ タマリ沼、姫沼＝利尻北麓野営場P(泊) 7/10野営場 P4:00＝利尻岳9:30～9:55＝野営場P14:00＝鷲泊FT(泊) 7/11FT＝香形港11:25＝礼文・香深港12:05＝内路登山口 12:45＝礼文岳14:45＝内路16:20 ＝フェリターミナルP(泊) 7/12 P4:00＝元地登山口 6:45＝ウススキウ群生地7:20～8:00＝元地8:30＝桃岩 展望台P8:40 ＝キノバイの谷9:40＝P10:10＝スコトン峠＝香深FT17:15 ＝稚内19:10＝23:30道の駅わっかない(泊) 7/13 道の駅5:30＝山麓駅8:45＝雲見駅9:00＝2035m地点10:10 ＝雲見駅11:20＝山麓駅11:42＝台冠IC＝大沼公園IC＝函 館(泊) 7/14函館＝六合目P9:00＝北海道駒ヶ岳・馬の背 (900m)10:00＝六合目P10:35＝函館港20:15＝青森港 FT0:00＝青森IC＝津軽SA(仮眠) 7/15SA＝高尾山IC＝ 16:00JR相原駅	利尻岳登頂前夜は強風が断続的に吹き荒れていたが、朝方から 風は納まり予定通り登ることができた。登山道上部は浸食、崩 壊箇所があり、歩行に注意を要する。旭岳は雨は弱かったもの の、10～20m/s前後の強い風がおさまらず、2035m地点で危険と 判断して引き返した。
538	個人山行	ハイキング		丹沢	塔ノ岳	7/9	7/9	渋沢7:16＝大倉7:50＝塔ノ岳12:00＝12:45＝15:40大倉＝ 渋沢	霧の中でしたが、歩荷訓練をしました。晴れて暑いよりはまし な天候で、途中で富士山も見れてラッキーでした。
539	個人山行	ハイキング		丹沢	塔ノ岳	7/9	7/9	相模大野6:05＝大倉7:05＝塔ノ岳10:00＝10:20＝12:30大 倉＝渋沢	1ヶ月歩いていない歩荷はきつかった。下山で近藤パーティ と会う。見晴らし山上部でボランティアと思いきや方々が登山道 の整備をしていた。感謝！
540	個人山行	ハイキング		伊豆・箱根	城ヶ崎海岸	7/9	7/9	伊豆高原9:30＝八幡野漁港＝橋立吊り橋＝対馬の滝＝ま るお12:30＝13:00＝いしがいの原＝14:40蓮華寺＝蓮華寺パ ス15:35＝15:45伊豆高原	城ヶ崎海岸は、約4千年前に大室山が噴火した時に溶岩が流れ 出し、海の浸食作用で削られてできた雄大な出入り激しいリ アス式海岸。9キロの自然研究路コースは岬から岬へとマカ ンゾウヤスカン百合が咲き、中々歩き応えのあるコースだ った。ツワブキやハマギキも沢山見られ、晩秋の花の頃も見事だ と思う。
541	個人山行	ハイキング		北海道	天塩岳・ニセイカウ シュッペ山・黒岳・羅臼 岳・夕張岳・樽前山	7/9	7/18	7/9相模大野＝羽田8:20＝9:55千歳＝愛別IC＝天塩ヒュ ッテ泊 7/10ヒュッテ5:20＝前天塩岳分岐(旧道コース)＝ ラクダ岩＝天塩岳12:00＝12:40＝避難小屋＝連絡道分岐 ＝旧道分岐＝17:20ヒュッテ＝奥白滝IC＝道の駅しらたき 泊 7/11道の駅＝上川層雲峡IC＝古川林道登山口8:20＝ コル＝セ(峠)山11:30＝12:10＝往路を戻る＝14:10登 山口＝層雲峡泊泊 7/12宿＝層雲峡(ロープウェイ)＝ 黒岳五合目駅(リフト)＝七合目6:45＝黒岳7:50＝8:10 ＝黒岳10:00＝中合目＝間宮岳＝北海岳＝14:00石室＝黒 岳＝15:10黒岳七合目＝層雲峡駅＝道の駅あしより銀河 ホール21泊 7/13＝7/14観光 7/15宿＝木下小屋5:30＝ 与三吉水＝羅臼平9:15＝羅臼岳10:25＝11:30＝往路を戻 る＝15:00登山口＝知床キャンプ場泊 7/16知床観光 7/17道の駅＝夕張岳林道終点登山口5:40＝分岐点・冷水 コース登山口＝冷水の沢＝望岳台＝ガマ岩＝吹き通し＝ 夕張岳10:00＝10:40＝馬の背コース＝夕張ヒュッテ＝ 14:00登山口＝南幌温泉宿泊 7/18丸駒温泉＝千歳19:10 ＝20:50羽田	手塩岳の旧道コースは藪こきで登山道不鮮明 熟達者向き。ニ セイカウシュッペ山の手の前大槍と本山の形状のギャップに驚 く。黒岳 残雪期のお鉢巡りコースはお花畑、トムラウシ山 まで遠望でき素晴らしい。登れてない石狩岳、二ベツツ山も目 の前非常に残念。羅臼岳からは国後、色丹島、磯谷までの縦走 路も確認でき二回目の登頂は満足できた。夕張岳は前岳履原 りからはさすがにお花の種類が多い。残念ながら夕張岳は名残 だけだった。北海道の登山道の入口を見つける事が登山もの より難しいを痛感した。
542	個人山行	ハイキング		富士・御坂	富士山	7/11	7/12	7/11町田8:01＝小田原＝熱海＝三島9:50＝10:20(バス) ＝富士宮登山口＝16:20 8合目池田館(泊) 7/12宿6:00＝8 合目5分付近＝池田館＝富士宮口バス＝富士見＝小田原＝町 田	あいにくの天気でしたが予定の八合目の池田館に泊まる。満員 で夕食はレトルトカレーが運ばれてきて食べる。濡れた衣類で デントより大変。翌日も雨でも行けるころまで行く予定で出 発40分ほど登るも風が強くなり危険を感じられたため断念。雨 の中でも薄着で出発する外国人が多いのに驚いた。

No	山行区分	山行形態	タイトル	山 域	山 名	出発	帰着	コースタイム	感 想
543	個人山行	ハイキング		東北	月山・鳥海山	7/12	7/15	7/12町田21:00=圏央道=東北道=二本松IC=国道4号=道の駅「安達智恵子の里」(泊) 7/13道の駅「安達智恵子の里」6:00=月山八合目10:00~10:30=仏生池小屋12:20~10:月山13:20~14:00=仏生池小屋15:00~16:10月山八合目=鳥海温泉保養センターあぼん西浜=西浜キャンプ場 (泊) 7/14西浜キャンプ場5:30=鉢立駐車場6:35=賽の河原7:50=御浜小屋8:35=御田ヶ原分岐9:00~七五三掛9:30~行者岳10:55~七高山11:25~御室12:05~新山12:25~12:45~御室13:40~七五三掛14:55~御浜小屋15:55~賽の河原16:15~17:15鉢立P=道の駅象潟むねの丘(泊) 7/15道の駅象潟むねの丘7:00=関越自動車道=15:00相模大野	雨を覚悟の山行でしたが、幸いに2座とも雨に降られることもなく、楽しく山行を終えられました。特に、月山では登り始めてすぐに雨が上り、背が見え始める予感で、メンバーのテンションも大いに上がりました。鳥海山は、山頂は残念ながらガスの中でしたが、中腹まではガスもなく、雄大な山容が楽しめました。特に、庄内平野とそれに続く日本海の景色は、ひととき印象に残る景色でした。
544	個人山行	ハイキング		北アルプス	立山・剱岳	7/12	7/15	7/12新宿バスタ23:00 7/13室堂ターミナル7:00~7:50~一ノ越9:10~雄山神社10:10~大汝山11:10~真砂岳12:28~南峰13:17~御室小屋14:51~15:32剱山荘(泊) 7/14剱山荘7:15~剱御前小屋9:05~剱御前9:55~剱御前小屋10:45~13:10雷鳥荘(泊) 7/15雷鳥荘8:00~ミクリガ池8:50~室堂ターミナル10:00~12:30=20:30新宿	天候が悪く2日目の剱岳アタックは断念した。今年は例年に比べ残雪が多いようで、剱御前小屋から剱山荘までの残雪の長いトラバースがあった。軽アイゼンがあると安心して歩ける。1日目と3日目は天候に恵まれ、立山縦走や種々のお花、雷鳥の親子との面会などを楽しむことができた。
545	個人山行	沢登り		奥秩父	釜の沢東俣	7/12	7/14	7/12 町田21:00/22:30=23:30/25:00道の駅坂根 7/13 西沢溪谷6:30~山ノ神8:40~西のナメ出合11:15~魚止の滝11:45~西門の滝13:15~15:00広河原上部(天霧泊) 7/14 広河原上部7:30~ナメ滝8:00~木賊沢出合9:55~11:10甲武信小屋12:00~近丸新道分岐15:00~登山口17:00~P17:30=23:00町田	梅雨の晴れ間を利用して沢へ行った。前日までの雨の影響は少し水量が多い程度、山ノ神までの間にメンバーの調子を見る。薄日が差してきており、日中は曇りと判断し、増水時の影響を受けたい広河原を目指す。魚止の滝で前進するかを決める。翌日は雨になるので、広河原の上部を目指し、樹林の中にテント設置する。焚き火で濡れ物を乾かし、早めの就寝。夜中小雨が続くが、沢音は変化無かった。朝水量を確認し、出発。これから先はほとんどの滝に巻き道があり、水量もあり無いため、水線上と巻き道を利用して、甲武信小屋を目指す。甲武信小屋からのくぐり気は緩みか、あちこち道草を食いつながら、戸渡尾根を下る。今回のメンバー構成は、人数が多いが、内4名は沢熟練者で3人の沢初心者(全員クライミング経験あり)を指導する形となり、ルート取り、荷物の分担等、パーティの意思疎通がうまくいき、まとまりが良かった。天候の判断が難しい状態ではあったが、本流進行時は雨の可能性が低いので、決行した。又、このルートは毎年のように行っているのの様子では把握しているのでもってロープ使用箇所などスムーズにできた。広河原から先は巻き道がほとんどで水量も少ないので、小雨程度は問題なしと判断した。
546	個人山行	ハイキング		丹沢	塔ノ岳	7/13	7/13	秦野7:44=ヤビツ峠8:30~塔ノ岳12:30~13:00~15:00大倉	展望もなくただただ蒸し暑い一日。こんな日のボッカは体に堪えました。
547	ハイキング 企画部山行	ハイキング	①新入会 員歓迎山 行	中央沿線	百蔵山~扇山	7/13	7/13	町田6:39=高尾=猿橋=福泉寺前8:40~百蔵山11:00~11:30~扇山14:05~梨ノ木平15:20~16:30鳥沢	梅雨の合間を縫って敢行した。午前中は富士山の山頂が見えるほど少し晴れ間もあったが、下山時は霧雨にあたり、連日の降雨で地面が滑りやすいところも多く、慎重に歩いた。少々長い行程ではあったが、全員元気に完走した。
548	個人山行	ハイキング		丹沢	大山	7/13	7/13	鶴川7:35=伊勢原=大山ケーブルBSS:40~下社10:00~10:15~大山11:05~11:20~見晴台12:25~12:45~14:00日向薬師BS=伊勢原=15:03鶴川	天候曇り・湿度高く、大量の発汗。この時期の大山は厄介な山行。大山ケーブル登山口から山頂までは大倉根根同様の賑い。山頂から見晴台・日向薬師までは登山者は少なかった。
549	個人山行	ハイキング		中央沿線	清八山~摺針峠	7/13	7/13	町田6:05=八王子=笹子7:45~変電所8:55~9:15~清八山11:00~11:25~1531~赤女峠~大沢山11:35~摺針峠15:45~17:45笹子=高尾=八王子=19:44町田	清八山より街に出るまで誰にも会わずに静かな山行が出来ました。13:30頃より雨が落ちてきたので途中時間切れになり下山した。あまり歩いていない静かなコースでした。
550	個人山行	ハイキング		丹沢	加入道山~大室山	7/13	7/14	7/13町田=道志=室久保川登山口P9:30~加入道山12:00~前室山(往復)~14:00加入道山避難小屋 7/14避難小屋8:00~9:30室久保川登山口P=道志=町田	大室山まで往復の予定だったが、雨模様なので途中で引き返した。
551	安全山行推 進部山行	ハイキング	グラウス 登山学校	八ヶ岳	天狗岳	7/13	7/14	7/13町田6:18=高尾=甲府=茅野10:25(バス)=洗の湯洗の湯11:22~11:40~分岐~黒岩合平14:30~15:10(テント設置)~東天狗16:35~17:40テン場(泊) 7/14テン場6:10~洗の湯9:10~10:30(バス)=茅野=八王子=町田	梅雨の時期ならではの行動。夜中に大雨が降り朝起きる迄は気が付かなかったがテント内は雨の侵入で、至る所が濡れていた。初めてのテント泊でしたが大変な経験ができたと思う。懲りずに頑張ってください。
552	個人山行	ハイキング		奥武蔵	伊豆ヶ岳	7/13	7/13	町田6:18=八王子=東飯能=正丸8:29~8:40~正丸峠分岐~伊豆ヶ岳10:30~10:50~古御岳11:15~高畑山11:45~12:05~天目指峠12:55~子ノ権現13:50~14:40~浅見茶屋~15:50吾野=東飯能=八王子	伊豆ヶ岳名物の山頂直下の長い鎖場は長雨の影響で全く乾いておらず、岩がツルツル、ヌメヌメ。先行者による落石もあつたりして、要注意。夕方から雨の予報だったので、子ノ権現からエスケープルートを使い、浅見茶屋経由で下山した。予報通り、15時から小雨になった。
553	個人山行	ハイキング		上越	浅草岳・守門岳	7/13	7/15	7/13町田=関越道=小出IC=ネズモチ平P12:00~14:30前岳~浅草岳14:55~前岳~嘉平与ボツチ~17:10桜ノエ広場~17:50ネズモチ平P=音松荘(泊) 7/14宿=大白川登山口P8:15~布引の滝9:00~小鳥帽子12:00~0守門岳13:2~小鳥帽子15:05~17:40大白川登山口P=宿 7/15宿=小出IC=関越道=町田	いろいろな花が見られたが浅草岳ではヒメユカリ、守門岳ではニッコウキスゲが印象的だった。両山とも尾根筋で雪渓のトラバースが1か所あった。また両山とも登山道はぬかるんだ滑りやすい急坂で登り下りとも緊張の連続であった。
554	個人山行	ハイキング		東北	焼石岳・神室山	7/13	7/15	7/13高座渋谷10:00=東北自動車道古川IC=R47=R108=R103=道の駅おかし(泊) 7/14道の駅おかし=後内登山口6:00~第2渡渉点7:15~不動明王~御田の神9:55~神室山11:15~(往路を戻る)~不動明王水場13:20~登山口P15:30=秋の宮温泉=東北自動車道・古川IC=水沢IC=R397=道の駅みずさわ(泊) 7/15道の駅みずさわ=中沼登山口6:25~銀明水避難小屋8:40~姥石平分岐10:30~焼石岳11:10~9合目~姥石平~(往路を戻る)~15:55中沼登山口P=(ひめかゆ入浴)=東北自動車道前沢IC=圏央道海老名IC=高座渋谷	神室山は、終日曇天で縦走路から頂上付近は冷たい風が吹き夏山とは思えない。当初ハノアコースを下山予定だったがガスで眺望も効かず、登山道整備も間に合わないようで縦走路になるとの情報だったので往路を戻った。吊り橋や渡渉を繰り返して、胸突き八丁など変化に富んだ山行だった。焼石岳は、何種類もの高山植物の競演と点在する雪渓・輝く沼に何度も歓声を上げてしまう。チングルマの群生にイワガミ、ハクサンイチゲ、ヒオウギアヤメ、ワスレグサ、水芭蕉等素晴らしい。往路に写真撮影し景色を堪能しすぎた下山時間が遅くなってしまった。
555	個人山行	沢登り		丹沢	新茅ノ沢	7/13	7/13	新茅山荘P8:00~新茅橋~新茅ノ沢~鳥尾尾根12:10~P13:30	梅雨の長雨で外岩も行けず近場の新茅ノ沢へ。入渓と詰めの尾根までも短く登攀的な滝も3本あり面白い沢でした。F5はシャワークライミングになるためトップロープで練習。
556	個人山行	沢登り		東北	焼石連峰 前沢(し とまえさわ)	7/13	7/15	7/13 東京駅7:16=水沢江刺駅9:45 (レンタカー)=11:40中沼登山口12:20~12:50尿前駅13:10~14:00方円沢で出合0:720m付近(泊) 7/14 テン場6:10~尿前駅進行7:50~(進行打切り)~尿前沢山道9:05~中沼Pテン場9:50~焼石岳つづ沼分岐11:10~中沼P12:15=ひめかゆ温泉=水沢市街=15:30つづ沼キャンプ場 7/15 キャンプ場5:40=栗駒山須川温泉入浴7:00=賽の河原9:00=敵美溪12:30=髭鼻溪13:30=水沢江刺駅16:38 (新幹線) =東京駅18:56	初日は天候に恵まれたが、長雨の影響で沢は増水。それでも方円沢出合で僅かなスペースを開き優良テン場を作る。2日目も減水僅か、第一ゴルジュ出合口の土状況が突破できず、ガスも立ち上がったため撤退。一旦戻り焼石岳へくへくに変えたが、つづ沼分岐で本降りとなり、ハイクも諦める。入浴後無料のつづ沼CPで一夜を。3日目も山頂はどんより。観光に切り替え、栗駒山の須川温泉に入り、敵美溪でアイスとだんごを頻りに、髭鼻溪を観光し帰京。「焼石に沢」と「奥の横道」行脚となりました。
557	個人山行	沢登り		丹沢	小草平ノ沢、勘七ノ沢下部	7/15	7/15	渋沢8:30=表丹沢具の森P~二俣~小草平ノ沢・勘七ノ沢二俣間辺~16:00P=渋沢(マウントファーム登山学校沢登りにおける支点構築講習)	沢で確実な支点を取るのには難しく、確保も懸垂もあまり支点に負担をかけられないと実感しました。

No	山行区分	山行形態	タイトル	山 域	山 名	出発	帰着	コースタイム	感 想
558	個人山行	ハイキング		北アルプス	霞沢岳	7/17	7/19	7/17町田=松本(泊) 7/18松本5:00=(タクシー)=徳本峠入口/5:40…二俣…岩魚留10:10…14:10徳本峠小屋(泊) 7/19小屋6:20…9:00上高地バスターミナル=新島々=松本=町田	今回の山行目的は三つ。歴史ある道、島々から徳本峠越えること。徳本峠小屋に泊まること。霞沢岳登頂。内2つは達成できたが霞沢岳は前夜からの雨で足元が悪すぎると現地情報の下、中止とした。小屋を出るころには雨風も収まり他人は昨日同様に登山道の花々を楽しんでいた。小梨の湯営業12時から。インフォメーションセンターのコインシャワー利用。
559	個人山行	ハイキング		北海道	大雪～トムラウシ縦走	7/18	7/22	7/18羽田11:15=旭川=14:44旭岳温泉大雪山白樺荘(泊) 7/19白樺荘6:00=旭岳山口6:30(ロープウェイ)=姿見7:10=旭岳9:30=10:00=北海道12:20…14:00白雲岳避難小屋(泊) 7/20白雲岳避難小屋5:00=忠別10:25=11:00…15:20ヒサゴ沼避難小屋(泊) 7/21ヒサゴ沼避難小屋5:00…トムラウシ山10:40=11:30…20:00トムラウシ温泉(泊) 7/22東大雪荘10:00=17:旭川=21:15羽田	私福田はトムラウシへの登りのロックガーデンにてバランスを崩し岩に強く手をついてしまいました。すぐにテーピングをしましたが、特に痛みもなくストックもつけたので何の問題もなく下山しました。下山後ほとんど腫れがひどなくなったため、翌日の山行は中止にして翌日病院に行ったところ手の甲が骨折していました。
560	個人山行	岩登り		丹沢	広沢寺	7/18	7/18	広沢寺P9:00…広沢寺弁天岩…13:45P	本日は3パーティーのみでした。トップロープ&リード登攀を実施。
561	個人山行	ハイキング		東北	鳥海山・出羽三山	7/19	7/22	7/19東京(バス) 7/20鉢立登山口7:00…御田ヶ原分岐…千蛇谷…新山10:30…外輪山…鉢立登山口15:10(バス)=鶴岡 7/21鶴岡(バス)=湯殿山仙人沢登山口9:30…姥ヶ岳12:00…大雪城…月山14:30…15:40佛性池小屋(泊) 7/22佛性池小屋6:30…弥蛇ヶ原…月山8合目登山口(バス)7:50=羽黒山山頂…随神門12:10(バス)=鶴岡=庄内(飛行機)=20:00東京	3日間すべて天気に恵まれ、お花畑、ニッコウキスゲの大群生やおコゴにも出会えた。鳥海山、月山縦走どちらも水場もなく、月山縦走は2日間の飲料水を各自ボックする必要あり。小屋の水も飲めない。雪溪多いが、ツボ足で歩行できる。
562	個人山行	沢登り		東北	岩手山焼切沢左保沢	7/19	7/21	7/19 都内=盛岡IC 7/20 滝沢総合公園=七滝登山口6:42…8:40c1130焼切沢入渓点9:14…左保沢遊行…c1550登山道13:40…14:32平空不動避難小屋14:44…15:23岩手山15:45…16:00不動平…16:56お花畑…19:11七滝登山口=八幡平温泉 7/21 盛岡IC=都内	遊行記録があまりなく距離は短いが、赤い岩肌が美しく、湯華がたまる沢、小滝の連続、音むす滝など多彩な沢で、ロープを2回出した。C148で水が枯れたから上部の岩間木も多く、道に出るまでとさらに頂上までハードな登りだった。
563	個人山行	ハイキング		北海道	羊蹄山	7/20	7/22	7/20鶴岡7:35=羽田=新千歳空港=札幌=16:30倶知安町比羅夫 7/21宿舎3:50=羊蹄山比羅夫登山口4:20…1合目5:15…5合目7:15…9合目10:10…羊蹄山避難小屋10:30…10:50…9合目分岐 11:15…羊蹄山12:05=12:40…真狩下山分岐13:30…5合目15:35…3合目17:35…真狩登山口18:05=真狩温泉(入浴)=札幌 7/22札幌10:05=新千歳空港=14:05羽田	台風の影響で本州が天候不順のなか、北海道は好天で、早朝の出発時間から下山時まで晴天でした。7月の夏休みに入って初めての週末で、山頂は多くのハイカーで賑わっていましたが、素晴らしい展望を楽しめました。比羅夫コースで登り、真狩コースで下山できたのも良かったです。
564	個人山行	ハイキング		北アルプス	表銀座縦走	7/20	7/24	7/20町田7:30=八王子=10:23松本(観光) 徳高15:00=16:00中房温泉(泊) 7/21中房温泉7:25…合戦尾根11:20=12:00…燕山14:00=15:00…0燕岳16:10…17:00燕山荘(泊) 7/22燕山荘5:25…大天社9:30=10:00…14:00常念小屋(泊) 7/23常念小屋6:50…常念岳8:20…蝶ヶ岳ヒュッテ14:30=15:00…蝶ヶ岳16:00…16:15蝶ヶ岳ヒュッテ(泊) 7/24蝶ヶ岳ヒュッテ7:00…11:40三股(タクシー)=徳高=18:30町田	心配した天気も味方してくれ、コマサ咲き誇る燕岳、刻々と変化する徳高連峰、槍ヶ岳の眺望に浸った。ハイシーズンながら梅雨天気予報の影響か登山道、山小屋とも空いていて快適に過ごせた。下山に利用した蝶ヶ岳から三股への道は階段、木道が見事に整備され歩きやすかった。
565	個人山行	沢登り		奥秩父	小常木谷～火打石沢下降	7/20	7/21	7/20 矢部15:15=丹波川P 7/21 丹波川P=余慶橋P6:00…6:30小常木谷6:45入渓…10:45岩岳沢出合11:00…13:451780m岩岳尾根14:00…17:00余慶橋Pのめこい湯=帰宅	岩岳尾根を下降した。
566	個人山行	ハイキング		大菩薩	滝子山	7/21	7/21	八王子7:13=笹子8:28=8:40…寂情尾根9:45…滝子山12:20…13:15初狩	駅では何組かのパーティーに出会いましたが、滝子山では男性3人の一組だけでした。静かな静かな滝子山満喫しました。
567	個人山行	ハイキング		奥多摩	高水山～棒ノ嶺	7/21	7/21	小田急相模原5:04=町田=八王子=立川=軍畑7:13～7:25…高水山9:15=9:25…5岩茸石9:5=10:10…11:50黒山12:10…棒ノ嶺12:50=13:20…15:30さわらびの湯=東飯能=八王子=町田=小田急相模原	高水山への登りは全く風がなくて蒸し暑く、想定外に疲れた。それ以降は、時折、風を感じながら歩いた。縦走路はあまり会おう人もなく静かだったが棒ノ嶺山頂にはたくさんの人々がいてびっくりした。一日中、展望は無かったが、ガスで真っ白になった森の中を歩く場面もあり幻想的は雰囲気を楽しんだ。
568	個人山行	ハイキング		富士・御坂	小富士	7/21	7/21	成瀬=御殿場駅前P=馬返しB S 9:30…グランドキャニオン入り口…三角点…12:20小富士…13:15須走口五合目B S =御殿場駅前P=成瀬	富士山頂は時折姿を見せたがあとは深い霧の中だった。小富士の標識は撤去されていた。
569	個人山行	ハイキング		道志	御正体山	7/21	7/21	愛甲石田6:15=鹿留林道・池の平P8:30…林道終点…上人堂跡10:00…展望地11:00…御正体山11:50…分岐…(シキリ尾根)…岩戸山…送電線鉄塔…池の平14:30=愛甲石田	御正体神社より上人堂跡まで観音像が続き信仰の対象となっていた往時を偲ぶ静かな登山道だった。峰苔跡地も期待するほどの展望はなく、終日ブナの巨大木やデーンソウ・トリカブト・フタリシズカの中を歩いた。シキリ尾根はスタケの藪漕ぎと鬱陶しい小さな黒いスズカのような虫に取り囲まれて難儀した。
570	ハイキング 企画部山行	ハイキング	⑤東京近郊の山	奥多摩	戸倉三山	7/21	7/21	町田6:05=八王子=拝島=7:34武蔵五日市7:45=今熊山登山口8:00…今熊山…刈寄山10:25=10:40…市道山13:55=14:05…白杉山16:00…18:00元郷=武蔵五日市=拝島=八王子=町田	今熊山まき道手前に公衆トイレ有。元郷登山口は酒屋横川フェンスに沿って50Mぐらい草むらるを歩く。13:30ごろより雨が落ちてきたが雨具着るほどでなく終日着ないですみました。
571	個人山行	ハイキング		富士・御坂	富士山	7/21	7/22	7/21町田=小田原=熱海=三島=バス南口=富士宮登山道5合目12:30…14:40元祖7合目山口館(泊) 7/7合目2:30…山頂7:00…お鉢巡り…富士宮ルート9:00…13:00富士宮五合目=バス三島=小田原=町田	一番心配していた高度障害も良くない山行となりました。何年来的約束を果たせ満足です。剣ヶ峰での記念撮影の順番待ちの長い行列には驚きました。
572	個人山行	ハイキング		丹沢	高取山～弘法山	7/21	7/21	伊勢原7:30=バス=保国寺8:00…聖峰9:00…高取山10:00…念仏山11:25…善波峠12:00…めん羊の里12:30…13:00富士見の湯(入浴)=秦野駅	蒸し暑い曇り空、ヤマビルが大量にいた。十分注意し駆除したが6人中4人が血を吸われる被害にあう。ふじみの湯では、交流ハイキング時のトイレ借用の御礼の挨拶をした。利用料は1000円では比較的に高いと感じたが、3人以上の利用で秦野駅まで無料タクシーの送迎が有り、その分を勘案するとリーズナブルかな？
573	個人山行	ハイキング		北アルプス	薬師岳	7/22	7/25	7/22新宿22:25=富士5:20 7/23富士5:30=折立8:10…15:00太郎平小屋(泊) 7/24太郎平小屋5:40…薬師岳9:30…薬師峠13:00…14:10太郎平小屋(泊) 7/25太郎平小屋5:40…三角点8:00…折立10:00=富士山13:00=19:30新宿	折立から出発時から小雨の中登山道は悪路で川になって慎重に歩を進めるも時間を要した。登山道も改修中で歩き難い状態であった。翌24日富士山エリアは梅雨明けとなり、快晴で暑い中薬師岳に向かう。お花達は沢山合い近くに黒部五郎、鷲羽岳、水晶岳、槍ヶ岳も望めた。 ・折立への下山は、雷鳥親子連れに出逢いラッキー！この日は、快晴と夏休み中で大勢の登山者とのすれ違いが大変だった。
574	個人山行	ハイキング		北陸	白山縦走	7/22	7/26	7/22 新宿23:35=7/23名鉄岐阜=都上白鳥11:00=(タクシー)=石徹白登山口12:15…14:05神場ノ宮避難小屋(泊) 7/24小屋5:00…別山10:40…14:30甚之助避難小屋(泊) 7/25小屋5:00…室堂…御前峰7:40…14:00ゴマ平避難小屋(泊) 7/26小屋4:30…妙法山…三方岩岳11:50…12:30三方岳P=(タクシー)=白川郷	天候に恵まれ実に数多の花々から元氣と安らぎをもらいながら4日間の縦走を終えることができた。石徹白避難小屋・ゴマ平避難小屋は私達だけ、甚之助避難小屋は12人の宿泊者。中宮道・北縦走路は歩く人も少ないのか草木が登山道を覆い歩き難い箇所があった。

No	山行区分	山行形態	タイトル	山 域	山 名	出発	帰着	コースタイム	感 想
575	個人山行	ハイキング		陣馬・高尾	高尾山	7/24	7/24	成瀬＝八王子＝高尾山口6:35…稲荷山7:20…高尾山8:20…(1号路)→9:40高尾山口＝成瀬	高尾山口駅にハイカー2人、トラン1人、山頂に6人ほど。人の少ない高尾山でした。道がたいへんぬかるんでいたので下山は1号路を歩きました。ヤマユリがあちこちに咲いていました。
576	個人山行	ハイキング		丹沢	塔ノ岳	7/25	7/25	相模原6:40＝秦野駅8:23＝ヤビツ峠9:40…塔ノ岳14:00～14:30…17:00大倉＝17:40渋沢	縦走練習の為ザック重量14kgでの山行スタートでしたが、湿度100%気温25度と厳しい環境にあり計画より歩行時間が長くなりました。熱中症のリスクがありました。
577	個人山行	ハイキング		陣馬・高尾	高尾城山	7/25	7/25	八王子6:54＝高尾7:20…高尾山口8:20…城山11:00～11:40…12:40小仏BS＝高尾＝八王子	城山への道はヤマユリが咲き誇っていました。リンドウも輪咲いていました。
578	個人山行	ハイキング		奥秩父	瑞籬山・金峰山	7/25	7/26	7/25橋本7:30＝瑞籬山荘P11:00…富士見平小屋12:20～13:35…瑞籬山15:50…17:55富士見平小屋(蕎麦) 7/26富士見平小屋6:00…大日岩7:50…金峰山11:10～11:50…大日岩14:10…富士見平小屋15:55…17:55瑞籬山荘P＝21:30橋本	両日ともよく整備され、歩きやすいコースであった。岩稜帯の通過があるが、鎖やハシコが設置され不安はない。終日さわやかに、テント泊山行に最適な時期であった。一時、強風や通り雨に遭遇したが、行動に支障は無かった。いたる所にシヤクナグの群生があり、金峰山山頂周りで綺麗な花とウスユキソウの花等を見ることができた。
579	個人山行	ハイキング		東北	飯豊連峰	7/25	7/28	7/24新宿バス23:00(会津バス)＝7/25 5:20会津若松7/25会津若松5:28(=JR磐越西線)＝山都5:54(=タクシー)＝御沢野宮場6:50…横峰小屋跡…地蔵山…三国岳12:30…本山小屋8:30…飯豊山8:50…御西小屋10:45～11:40…大日岳13:00～13:30…14:40御西小屋(泊) 7/27御西小屋4:05…烏帽子岳8:25…梅花皮岳小屋9:10～9:30…北殿岳10:10…門内岳…門内小屋11:25～12:30…扇ノ地蔵…梶川尾根…登山口17:25…17:30飯豊山荘(泊) 7/28飯豊山荘9:20＝小国＝米沢＝大宮＝新宿＝16:54町田	4日間天気を持つことなく28日は雨風強の90%の予報の為残念でしたが飯豊山荘に下山する。27日は14:30頃より雷が鳴り雨に降られる。あちこちにお花畑があり色々な花を楽しみながら山深い東北の山並みを堪能することが出来ました。
580	個人山行	岩登り		奥秩父	小川山	7/25	7/27	7/25 相武台19:00＝道の駅南きよさと(仮眠) 7/26 7:30小川山クライミング(幕) 7/27 7:30小川山クライミング＝帰宅	
581	個人山行	ハイキング		奥秩父	乾徳山	7/26	7/26	自宅6:00＝厚木西IC＝勝沼IC＝徳和登山口9:00…国師が原11:00…扇平…乾徳山12:30…(往路を戻す)…15:30徳和登山口P＝勝沼IC＝都留IC＝道志＝自宅	天候が夕方から崩れる予報で大気が不安定そのものだったのであまりのんびりは出来ずに歩いた。しかし最後の1時間は本降りの降雨にあったが標高が下がる雨も止んだ。中学生の脚力・バランスの良さは素晴らしい年齢差を思い知った。
582	個人山行	ハイキング		東北	栗駒山・不忘山	7/26	7/28	7/26町田5:00＝調布＝鹿沼IC＝R121児子沼公園R121＝一関IC＝R342 須川高原温泉(泊) 7/27須川高原温泉…須川コース登山口7:30…自然観察路分岐7:50…栗駒山9:30～9:50…11:30須川高原温泉＝R398築館IC＝村田IC＝鎌倉温泉(泊) 7/28鎌倉温泉＝宮城蔵王白石スキー場9:10…白石女子高小屋跡9:30…カエル岩11:30…13:00宮城蔵王白石スキー場＝国見IC＝鹿沼IC＝調布＝町田＝秦野	栗駒山は須川コースは火山性ガスにより危険なため通行禁止。不忘山はスキー場の広い駐車場が利用可。
583	個人山行	ハイキング		奥秩父	瑞籬山	7/28	7/28	自宅4:10＝瑞籬山荘P7:15…富士見平小屋7:50…瑞籬山9:55…富士見平小屋11:25…瑞籬山荘P12:25＝17:00自宅	瑞籬山荘までの移動途中は雨模様でしたが、現地は雨上がりで程良い山行でした。
584	個人山行	ハイキング		東北	刈田岳	7/28	7/28	蔵王・自然の家8:30＝蔵王登山口＝大黒天9:30…蔵王・刈田岳11:00＝12:00蔵王・自然の家	登山開始の9:30～刈田岳登頂の11:30の間、雨も止み少しの風があったものの絶好の登山コンディションの中、子どもたちを主役にくつくり歩き、雄大な景色と沢山のカタクリの花など多くの花に出会い、大いに山行を楽しみ事が出来た。
585	個人山行	ハイキング		東北	西吾妻山・磐梯山	7/28	7/30	7/28成瀬＝郡山＝福島＝米沢＝天元台湯本(泊) 7/29リゾートセンター＝北望台9:10…梵天岩…西吾妻山11:30…西大嶽12:35…グランドコスケー場15:00…15:50デコ平＝裏磐梯(泊) 7/30宿＝八方台登山口7:10…中の湯跡…弘法清水9:20…磐梯山10:00…お花畑…中の湯跡…12:50八方台登山口＝猪苗代＝郡山＝東京＝成瀬	米沢までは青春18きっぷを使いましたがワイワイと話をしていると各駅停車も苦になりませんでした。西吾妻山の山頂は展望はありませんがそこに至るまでの岩山や高層湿原は素晴らしいものでした。西大嶽からの下りは前日までの雨でぐじゃぐじゃのツルツルで思いのほか時間がかかりました。磐梯山は夏休み中の学生さんで賑わっていました。
586	個人山行	ハイキング		東北	鳥海山・月山	7/28	7/30	7/28鶴川5:33＝東京＝山形＝11:30獅子鼻温泉(ハイキング)14:00＝16:00狭倉温泉(泊) 7/29狭倉温泉4:30＝福ヒュッテ5:35…七ツ釜避難小屋7:55…(大雪路)…七高10:40…鳥海山・御室小屋11:00～11:20…七五三掛12:55…御田ヶ原分岐14:20…御浜小屋14:35…六合目養の河原15:10…16:30峠立登山口＝18:30羽黒山宿坊(泊) 7/30羽黒山7:00＝月山八合目 8:50…弥陀ヶ原…仏生池小屋10:50…月山12:35…牛首 13:40…リフト上駅14:50＝リフト下駅15:30…15:40渋沢＝水沢温泉館＝山形＝東京＝23:32鶴川	台風一過の好天を期待しましたが、梅雨前線が居残ったため、鳥海山、月山ともに烈風とガスで最悪のコンディションでの山行でした。鳥海山、新山登頂は烈風のため断念せざるを得ませんでしたが、七高山に登頂。鳥海山、月山ともに今年は残雪が多く、雪渓の登り、トラバースでは軽アイゼンも多用。早朝の登りは、雪渓も固く、アイゼンでは必須。お天気には恵まれませんでした。高山植物が満開の山行でした。
587	個人山行	岩登り		北アルプス	剣岳 源次郎尾根	7/28	7/31	7/28 原当麻13:00＝17:00大町(泊) 7/29 大町＝扇沢駅7:30＝室堂9:10…12:15剣岳キャンプ場(蕎麦) 7/30 キャンプ場3:30…源次郎尾根取付き5:00…9:55剣岳10:20…別山尾根…13:45キャンプ場(蕎麦) 7/31 キャンプ場5:50…8:40室堂9:15＝扇沢駅	湿った空気が入り、剣沢に入った日の夕方は大雨、次の日も2700m以上はガスの中の登頂となった。源次郎尾根は人気ルートだけあって踏み跡がしっかりといて、取付きや懸垂地点もわかりやすかった。
588	個人山行	ハイキング		丹沢	畦ヶ丸山	7/29	7/29	鶴川6:13＝新松田7:15＝西丹沢ビジターセンター＝8:30…下棚沢出合9:50…善六のタワ10:50…畦ヶ丸山12:00～12:30…大滝峠上13:20…軒屋避難小屋14:10…15:10大滝橋BS15:47＝新松田＝17:55鶴川	一か月ぶりの山行だったので、スタミナ不足が露呈しました。それでも標準タイムで行動できたと思います。予想以上の湿度の中を歩いたので、飲料水茶調理用の水3ℓをすべて使いました。ルート上の問題点ですが、西沢からの濃沢では、水量が多いため、注意する必要があります。また、一部の橋が破損しており、歩くには注意が必要です。下山時ですが、大滝峠下以降の沢で一部ガレが発生しており、ところによってはチェーンの設置が必要と思われる箇所がありました。
589	ハイキング企画部山行	ハイキング	⑥縦走を目指した山行	丹沢	丹沢表尾根	7/31	7/31	秦野8:25(ヤビツ峠行きバス)＝ヤビツ峠9:13～9:30…二ノ塔…三ノ塔…塔ノ岳14:30～15:00…(大倉尾根)…18:15大倉BS＝渋沢	風がほとんどなく、とくに暑かった。30分ごとに給水をしなから、ゆっくり歩く。暑さで、食欲もあまりです。このような時、どんなものが食べやすいかを話した。それでも、メンバー全員、しっかりと歩き通しました。夏山縦走に向けて、よいトレーニングになった。
590	個人山行	沢登り		奥秩父	丹波川本流	7/31	7/31	矢部6:10＝三条新橋8:35…丹波川本流進行…坊主瀬9:35救助要請(小常木谷出合)10:46 へり収容11:50…青梅街道13:50	事故発生 会長、各部長に事故一報の連絡済み